



首都圏の女性538人(未婚 74.5%、既婚 25.5%)に、時間とお金のゆとりに関する意識を聞いた。

<時間に余裕があるほうが>

時間に余裕があるほうかを聞いたところ、「非常に当てはまる」6.9%、「まあ当てはまる」38.8%、「あまり当てはまらない」38.3%、「当てはまらない」16.0%と、「時間のゆとり感」のある人、ない人が二分される結果となった。20代は「まあ当てはまる」、30歳以上は「あまり当てはまらない」が最も多かった。また、「まあ当てはまる」は若い年代ほど多く、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」は年代が上がるほど多くなった(グラフ)。

世帯タイプでみると、親と同居(独身)と一人暮らしは「まあ当てはまる」、夫婦二人暮らしと夫婦と子供の世帯は「あまり当てはまらない」が最も多かった。また「当てはまらない」と回答した人は夫婦と子供の世帯では36.7%となり、他の世帯タイプが1割台なのに対し高い数値となった。子供がいることで、時間のゆとりがなくなる現状がうかがえた。

<お小遣いは不自由しないほうが>

金銭的な余裕に関しては、「お小遣いは不自由しないか」という問いに対して、「非常に当てはまる」11.2%、「まあ当てはまる」38.8%、「あまり当てはまらない」34.2%、「当てはまらない」15.8%とこれも二分された。どの年代においても「まあ当てはまる」が最も多かった。また「非常に当てはまる」は、若い年代ほど多かった(グラフ)。

世帯タイプでみると、一人暮らしは「あまり当てはまらない」が44.4%となり、他の世帯タイプより高い数値となった。

<時間のゆとりとお小遣いとの関係>

また、時間のゆとりとお小遣いとの関係を見ると、「時間に余裕がある」人ほど「お小遣いに不自由しない」人が多く、「時間に余裕がある」「お小遣いには不自由しない」それぞれ「非常に当てはまる」と回答した人は3.0%となった。それぞれの回答が、「非常に当てはまる」「まあ当てはまる」の人は、合わせて全体の27.5%。逆に「時間に余裕がない」人ほど「お小遣いに不自由している」人が多かった。

<回答者プロフィール>

- 年齢: 20代 33.5%、30～34歳 37.9%、35歳以上 28.6%。平均年齢 31.6歳。
- 居住地: 東京都 66.5%、神奈川県 11.9%、埼玉県 11.7%、千葉県 9.7%、茨城県 0.2%。
- 未婚: 未婚 74.5%、既婚 25.5%。
- 世帯タイプ: 親と同居(独身) 37.2%、一人暮らし 31.8%、夫婦二人暮らし 18.4%、夫婦と子供 5.6%、その他 7.0%。

<調査実施>シティリビング

シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

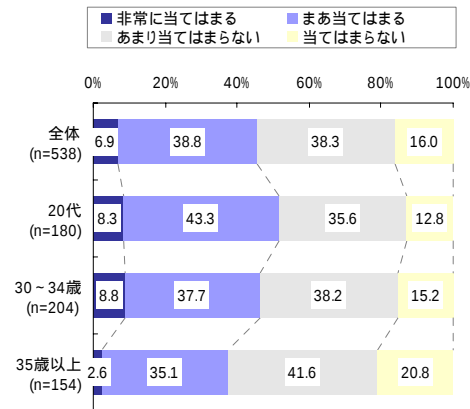
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

(グラフ) 時間に余裕があるほうが



(グラフ) お小遣いは不自由しないほうが

